

来年度の受験に向けて

学校よりも1か月早いですが、塾では新学年度が始まりました。卒塾生も無事受験を終え、あとは3月10日の結果を待つばかりです。今年の入試は数学や英語が例年以上に難しくなっており、受験生たちは面食らったと思います。当塾の塾生も直前対策や過去間練習で取れていたほどの点数が取れず、当日夜には落ち込み涙の出た子もいたようです。絶対に合格するという強い意志で必死に頑張ってきたからこそこの悔し涙です。ただ、翌日の塾の最後の授業には全員しっかり出席をして、自己採点の点数も報告し、きちんと最後のあいさつをして笑顔で帰って行ってくれました。思うような点数が取れなかった子も、「でも全力は尽くせました！」と笑顔で力強く言い切ってくれました。最後の1秒まであきらめず、考え尽くしたことでしょう。ボーダーがどうなるのかわかりませんので合否もまだ判断できません。ただ一つ確実に言えることは、たとえどういふ結果になろうとも、これまでの当塾の卒塾生たちがそうであったように、彼らもまた進んだその先で精一杯頑張り、明るい未来を自分でつかみ取っていくであろうということです。これまでの頑張りから信じられます。祈りながら結果を待ちたいと思います。

さて、今回の入試問題を見て、愛知県はかなり難しくなってきたとしみじみ感じました。塾を始めたころの30年前は国語、社会、理科、英語はかなり基礎的で、数学だけが恐ろしく難しいのが愛知県入試でした。そのため、名古屋トップ6校を目指す子たちは、数学以外の4教科はきちんとほぼ満点を取ったうえで、数学をどれだけとるか、で合否が決まったものです。

ところがその後、理科も難しくなり、英語も難しくなり、マークシートに変わってのここ数年は社会もかなり難しくなってきました。そしてそれに伴って数学が易しくなっていたのですが、どうやら今年は数学も難しいものに戻ったようです。国語もマークシートに変わって要約筆記がなくなった分、取り組みやすくなはなっていました。そのかわりにきちんと読み取れていないとひっかかってしまう選択肢が増えましたので、簡単になったとは言えません。結局、どの教科もかなり思考力を必要とする、真の実力が要求される問題になってきました。上位層はマークシートでは差がつきにくいいため難易度を上げてきたのかもしれませんが。来年はまたどうなるかわかりませんが、当塾では当然今年度と同レベルと考えて準備をしていきます。

新中3の塾生諸君、一年間はあつという間です。英数は言うに及ばず鍛えに鍛えますが、理社国も中3からは授業を行います。自分でも深く努力をして一歩も遅れないようついてきて下さい。新中2の塾生諸君も同様です。目の前のことに誠実に取り組みつつ進んでいきましょう！